

輝石

～追～

洗足学園高等学校 高校2年 学年通信 2020.05.27 発行
(洗足高 2×JSBN オンライン授業総合学習編)

JSBN すべてのゲストさんからの問い 「あなたの考える”幸福の自己実現”とは何ですか」

高2A A.Y

今日なぜかわからないけれど M さんの息子さんのお話を聞いていたら泣いていました。自分でもわからないけれど気づいたら涙が出ていました。心のなかで無意識に M さんの息子さんと自分を比べていました。そして M さんの息子さんは最終的に模擬国連という武器を見つけたからいいじゃん、私は模擬国連みたいな難しそうなのはできないしあまり興味も感じない、かといって高2になったのに他に自分のやりたいことや興味のあることがあるわけでもない、そのような自分の武器になるものをなにももっていないと無意識に比較して無意識に感じていました。この休校期間に大学のことや進路のことをよく考えていて、うすうすそのことに気づいていたからかもしれないけれど、それを改めて強く感じました。その涙だったのかなと思います。でも今まで生きてきた中で楽しいと感じることは数え切れないほどあるし、自分が「楽しい」「興味がある」を感じられないわけではないのです。だから絶対になにか楽しいと思えて興味を持てることがあるはずだからそれを見つけようと思いました。

そしてそれを見つけるにはたくさんの世界を知らなければいけないから、自分のやりたいことに限らず、興味のないことにもまずはチャレンジしてみようと思いました。食わず嫌いをしていたら今の自分の知っている小さな世界でしか生きられないから、もっとたくさんのことを経験して視野を広げたいです。そのなかで、チャレンジして経験した上で嫌だな、嫌いだなと思ったことは自分の幸福な自己実現の上ではいらぬものだからそれを避ければいいだけだし、何事もやってみなければわからないと改めて感じました。そうすることで自分のこれは楽しい、これは嫌いということが絶対に出てくると思うから、それら1つ1つを大切にしていこうと思いました。また誰かとの出会いがその「楽しい」「興味がある」の入り口かもしれないから、人との出会いを大切に、人見知

りだけれどそれを言い訳にせず、いろいろなことに飛び込んでたくさんの人に出会いたいと感じました。

今日の出張授業も最初はそんなにやる気ではなかったし授業だからやる、発言とか言われたことだけこなそうと思っていました。でもスライドをぼーっと見ているなかでなぜか引き込まれていつのまにか自分に置き換えて考えていて、今日のこの授業が自分の中で大きな出来事になりました。「幸福な自己実現」って考えれば考えるほど難しそうだけど、でもまずは自分の「楽しい」「興味がある」を大切にしていったら、いつか自然となれているんじゃないかなと思います。

高2A S.M

現在、コロナウイルスのため、自粛中、家に閉じ込められている状態だが、自分の同輩、尊敬できる人々と話す機会があって、本当に良かった。Mさんの話の中の”不可能なものは少なく、不可能なのは自分で作っている”この言葉に引かれた。自分ができないと思うから、限界ができてしまう。現在も家にいて、集中がされる、やる気がなかなかでないことが増えたが、そういう状況で一步前にでて、やれることはやり、前にどんどん進むのが大事だとわかった。このことは、自分の幸福の自己実現にもつながると思う。ゲストの方がおっしゃっていたが、幸福というのはみつけるのは大変であり、自分が今描いている幸福は10年後には幸福でないことだってある。そのような、予測不可能な自分未来が幸福になるためには、まず今、目の前のチャンスを掴んで、色々なことを経験したいと思う。また、幸福とは自分一人だけでは実現できない。今日みたいに他人の言葉などの支援が大事だと気づくことができた。

私にとっての幸福の自己実現とは自分ももちろんだが、自分の存在によって誰かの顔を笑顔に出きたら、一番それが理想である。今日、自分の満足感や幸福は大事だが、それには他人の笑顔がつながっていることに気づいた。しかし、幸福実現にはまず自分からはじめる。自分ができること、自分にできることをやり続けたい。途中で失敗することもあると思うが、その失敗をどんどん自分の成長にいかしていき、幸福を実現していきたい。



高2B U.Y

私は幸福の自己実現のために限界を作らないようにしたい。

まず、限界を作っているのは自分だというお話を聞いてすごく納得した。私が去年イギリス研修に行った時、学校でクラス分けがあった。その時、クラスの子はすごいスピードで会話していたのに対し自分は全然話せなくてクラスを下げてもらった。私はそのことを後悔している。なぜならもし私が自分に限界を作らずそのクラスで頑張り続けていたらもっと力がついたはずだからだ。しかし当時は、周りの子たちがすごすぎてもう限界だと思い本当に辛かった。でもそれは自分の限界を作ってしまったからではないかと思う。もしあの時クラスを変えなければ…と思うとせっかくのチャンスを自ら捨ててしまった気がして、研修からしばらくたった今でも残念な気持ちになるが、だからこそこれから私は同じ後悔をしないように自分に限界を作りたくない、今日のお話を聞いて

改めて思うことができた。諦め時が大切だという言葉もあるが、これから限界を感じて諦めそうなことがあれば、「限界を作っているのは自分だ」「コンフォートゾーンを飛び出せ」という言葉も思い出して、本当に諦めていいのかをよく考え直そうと思う。そうすることであとから後悔することを防ぎ、幸福の実現につながると思うからだ。

高2B T.E

今日は「とりあえず、実際にやってみよう」と思えた授業だった。

今私は、好きなこととして、1.絵を描く 2.好きな俳優 3.洋画、海外ドラマ 4.美味しいもの 5.世界史、英語がある。他の講演では「好きなことをやって」というメッセージを多く受けたが、「美術は好きだけど、仕事にできない気がする」となんとなく思ってしまい、あまり実感を得られず進路も特に定まらなかった。しかし、今回の講演とディスカッションを通して、「仕事」は人生のテーマのための通過点に過ぎず、その先の「どんな人生を送りたいか」「やりたいことはなにか」が重要だとわかった。また、現在自分の周りには先生、親、第三の大人という成長に必要な刺激は揃っており、あとは自分のチャレンジと自己肯定感の向上があれば、成長できるとわかった。また、グループディスカッションでは自分と似た意見や新たに気づくこともあり、とても良かった。

以上の今回の経験を通して、私にとっての幸福な自己実現は、「なにかを創り出すこと」「世界と関わること」ではないかと思った。幸福な自己実現に必要な「ワクワク」「得意」「社会に役立つ」の三要素に於いて、「ワクワク」「得意」を満たすのは、絵を描くこと、世界史、英語だと思う。絵を描いているときはずっと描いていられる。欧米や世界の文化が好きだ。また、自己実現において特に私に不足している要素は自己肯定感、自分の限界を破ること、コンフォートゾーンから出ることだと思う。得意なことでも、「上には上がいるから無理だ」と否定的に思うのではなく、「もっと上を目指そう」というハングリー精神に置き換えていく必要があると感じた。

今個人的に、イラスト関連のツールを使える機会を得たり、興味の出た分野の本を買ったりしたが、まだちゃんと行動に移せていない。せっかく今回「行動に移そう」と思えた機会なので、進路探しや新たな経験をもっと増やしていきたいと思えた。特に進路は「とりあえず」「なんとなく」でしかおいておらず、興味関心をきちんと定めているわけではないので、ちゃんとやりたいと思った。ただ、自分の引き出しを増やしつつ、好きなこともやりたいので、まず誰かに相談してみないといけないと思う。

高2B M.R

まず自分は、幼稚園や小学校中学年くらいまではどちらかというと人前に出て沢山発言したり、色々なことをしてきた人でしたが、年が大きくなるに連れ、周りや自分の変化によって自己肯定感が低くなってしまい、ここ数年は発言するのにも少し緊張したり、どちらかというと一歩踏み出して手を挙げる、ということがあまり出来ない人間になっていました。それはもう成長でもあるし、しょうがない、と今まで思っていた部分もありました。

わたしはカッコいいと思う人について、「人に笑顔や幸せ、勇気を日常的に与えられる人」としたのですが、まず自分がそのように人と関わって、ああこの人素敵だな、しっかり相談に乗ってくれて嬉しかったな、などとプラスに思ってもらうにはやはり「自分」をしっかり持っている というのはとても必要だと思いました。そのために、一度自分を見つめ直して自己肯定感も高め、一歩踏み出していきなと思いました。



幸福の自己実現のために失敗をしてもいいので、いろんなことに挑戦をしていきたいと思います。

高2C S.S

私は幸福の自己実現とは、自分の好きなことで社会に貢献することだと思います。もちろんそれだけではないですが、社会貢献が自分の幸福にもなる、という考えを今日、新しく持ちました。

私の班のゲストの今井さんは、劇場の運営をされているオーナーの方でした。元々音楽が好いで、17歳でオーケストラを作った時に、楽器を演奏するよりも、運営をする方が面白いと思ったそうです。それを聞いて、自分になりたい職業にそのままなっていて、凄く楽しそうだと思います。しかし、実際は仕事のうち98%は自分がやりたいことではないそうです。けれど残り2%のやりたいことをする為だったら、98%のやりたくないことも頑張れるとおっしゃっていました。

自分のやりたい職業についたからと言って、全て自分の望み通りではないのだと思いました。また、コロナウイルスによって劇場を閉じた時に、オンラインで演奏をするという企画を行ったそうです。その時、350人の方が見てくれたそうなのですが、その人たちからの感謝の言葉に、とても幸福を感じたそうです。

もうひとりの御園生さんは、会社で新しい事業についてどう思うか聞かれた時に、相手が知らない情報を用いて提案をした時、「それは知らなかった、お話できてよかった」と言われて、とても嬉しかったとおっしゃっていました。また、自分がどう社会に貢献できるかを考えている、ともおっしゃっていました。また、ゲストの方は今が一番勉強しているともおっしゃっていました。

自分のやりたいことをするにしても、社会に貢献するにしても、学ぶことは多いようです。けれど、この勉強は学ばないといけないもの、というより、自分のために必要な本当の勉強、に近いようです。人生は常に勉強なのかもしれないと思いました。

私が「幸福な自己実現」という言葉を聞いてすぐに思いついたことは、自分の結婚や家族、そして安定した職についてでした。

しかし、今日のディスカッションを通して、職業に就くことがゴールなのではなく、そこから自分が何をしたいのかが大切なのだと感じました。そして今出来ることは、とにかく挑戦してみることだと思います。最初は誰かと一緒にだったり、学校が与えてくれたチャンスでもいいから、何かやってみようと思いました。自分のやりたいこと、仕事はなんだろうと迷っていても、考えているだけでは変わらないと思いました。

自身の人生で得た学びをたくさん教えてくださって、考えの幅が広がりました。自分の利益だけではない、自分が社会に与える影響で得る幸せを大切にしながら、人生の選択をしていこうと思います。

高2C N.S

私は、幸福の自己実現とは、どんな小さなことでも自分が幸せだと感じることをしようと生きていくことなのではないかと思います。自分が幸せだと思うことをまず見つけ、そしてそれを仕事にできたら、もっと長い時間で幸福の自己実現が可能になるのではないかと考えました。私は周りの目を気にしてしまって自分のやりたいことをするのをためらってしまったり、好きなことが言えなかったりすることがありますが、そのままだと幸福の自己実現にはつながらなくて、やはり何か一

歩踏み出してみることが後の自分の幸福に繋がるのだと改めて感じました。グループディスカッションのときに、何もしないことのほうがリスクであるというお話を聞いて、何かをすることを恐れるのではなく、何もしないことのほうを恐れるべきなんだと今までの生き方をもう一度自分の中で考え直させられました。自分も毎日を幸せに生きられるように、今から小さな幸せを見つけ、それを日々実現するようにして、大人になったときに自分のしたいことをやって幸せに生きていたらいいなと思います。

高2D S.S

幸福の自己実現とは、「積極的に自分の意志で行動する」ことによって出来るものだと思う。

私は今まで、何にでも好奇心は持てるのにも関わらず、その興味を活かして実際に何かの行動に移すということが出来ない人間だった。おそらくこれは自分というものに自信がないから、自分の行動が正解なのか自信が持てていなかったことが原因なのだと思う。どうしても新たに行動を起こすことによって失敗したときの損失を考えてしまい、なかなか自分から行動することが出来ていなかった。しかし今日のディスカッションを通して、私は以前は少なからず他人からの目を気にしていたが、他人の積極的なチャレンジを冷ややかな目で見える人はいないんだ、とそのように気付かされた。また、ゲストの方は実際に自ら多くの挑戦をして今の幸せな生活に辿り着いていると知った。これらのことに気づいて、挑戦しても損失なんてなくて、後には必ず明るい未来が待っているということを知り、なんだか少し新しく行動を起こすことが怖くなくなった。積極的な行動は将来の自分のために前向きな作用を与えてくれるのだと思えるようになり、勇気づけられた。積極的な行動をする時に戸惑う必要は全く無く、積極的な行動が人を幸福な人生に導いてくれるのだと気づいた。

今日のJSBNのプロジェクトでは「積極的な行動の大切さ」を学んだ。私は今日の最後のクラスでのまとめディスカッションで自ら手を挙げて発言させて頂いて、実際にそこで発表したことが今日学んだことを少なからずでも活かせたということなのかなと思う。また、発言後は積極的な行動をしてよかったと思えることができた。今日学んで実際に実行したことで、より「積極的に自分の意志で行動すること」が自分にとって大事なんだと実感できた。今日の学びを今後は是非とも様々な場で活かしていきたいと思う。

高2D T.M

今回のJSBNの皆様の講演、そして洗足学園の高2のクラスメートの子たちとの対談を通して学んだことが2つある。

一つ目は失敗を恐れず一歩踏み出してみるということ。私は他人の視線を気にしてしまったり、失敗したらどうしようと先のことばかりを考えたりしてしまって、なかなか一歩が踏み出せなかった。でも今回の対談を通して、「完璧を求める必要はなく、失敗してもいい。自分の欠点も受け入れる。できない自分も愛おしい。それくらいの気持ちで一歩踏み出していくことが大切である。」というこ

とが分かった。そして、これからの人生でもたくさん挑戦して、たくさん失敗して、成功したことも失敗したことも笑って話せるようなカッコいい大人になりたいと思った。

二つ目は、自分が夢中になれることに夢中になるということ。ワクワクすることはとことん突き止めて行動することで幸福の実現に近づけるのではないかと思った。人生に正解はないから自分で正解を作っていく。将来で後悔したくないので、本能のまま生きていきたいと思った。この貴重な講演で私は自分自身と向き合うことができた。また将来、自分の人生を子供たちに語って夢を与えられるようなカッコいい大人になりたいと思った。

高2D NM

私は今回の授業を通して、「自分のやりたいことを実現すること」が自分にとっての幸福であること、そしてこの幸福を「絶対に見つける」「今から計画的に行動する」必要がない、ということを学んだ。

私がお話を聞いた方は学生時代の興味分野とは異なる分野で活躍されている方だった。その方のお話の中で、『今から将来に縛られすぎではなく、「いま好きなことや興味のあることの中」の要素が将来につながるかもしれない』と念頭に置きながら過ごすことが大事』という話が胸に刺さった。文理選択などの機会で自分の将来を考えた時、何になりたいのか一つに定まらず、漠然と焦りや不安を持っていたが、「ああ、それでいいんだ」「考えすぎなくていいんだ」と気持ちが軽くなった気がした。

また、「行動力」の重要さも学んだ。これは授業内で実感することもできた。今回の授業では生徒が積極的に発言をすることが求められていたが、グループ内の発言がなく、静かなときがあった。その時、私は「これはチャンスかも知れない」と思い、勇気を出して発言をしてみた。すると、講師の方からとてもためになるお話を聞くことができた。Mさんが「チャンスは突然やってくる」と仰っていたが、まさにそのとおりだと思った。大勢の前で発言をすることは苦手だけど、頑張って「コンフォートゾーン」を飛び出したことで得られたものはとても大きかった。まだ、大勢の前で話すことに慣れてはいないが、一歩踏み出す勇気を持てば自分にとって有益なことを多く得られることを今回実感したので、これからも手をあげるくせをつけていきたい。

最後に、今回の授業で来てくださった講師の方々のように様々な経験をされてきた方のお話をもっと聞いてみたいと思った。そして、いつか自分も講師の立場から自分の経験や考えを伝えたいとおもった。



高2E K.K

私は、「自分の弱点を恥ずかしがらない人」を尊敬しているが、考え直してみて、自分の弱みは頑固なところだと思う。頑固という性格には、人の言うことを聞かずに自分の意見を押し通そうとするというマイナスな部分がある。しかし、どんな場面でも人との関わりは絶えないし、人と関わることによって見えなかった世界は見えるようになることもある。だから、自分というものをもちつつ、相手にも耳を傾けられなければいけないと感じた。どんな性格や考えにも、プラスとマイナスの両面をもっていると思うが、そのマイナス要素を少しでも0に近づけられるようにになりたい。また、弱点を掘り下げるには、挑戦して失敗することが大切だと思う。だから、自分の人生を振り返ったときに、どんな失敗も自分では”成功”と自信を持っていえるように過ごしたい。

私は、将来医学と工学がコラボレーションしているような学部に進みたいと思っていたが、今回のディスカッションを通して、なんでそう思うのか、と考えた。一番の理由は、自分でどんなに小さな変化でも良いから世界を変えてみたいと思うから。世界の変え方は、社会の枠組みそのものを変えることや、技術開発などが様々な手段があると思う。その中でも、私は、目に見えるもので、今までにはなかった最新の製品や技術を生み出したい。二つ目の理由は、医療の方面に興味があるから。医療ドラマが好きで、そこから医療系の仕事を探してみるとどれも、人を助けられた、という実感が得られることに働く意味があると思った。。コロナの影響で、改めて健康や病気を防ぐことは誰にとっても大切なことだと感じ、健康を守れるような医療を提供する身になりたいと改めて感じた。三つ目は、実力主義の世界で負けず嫌いな性格を活かして、自分の限界まで挑戦したいから。臨床工学技士や、医療機器メーカーに一番興味を持っているが、実力や利益第一で働くため、一番になるという強い意志がいきると思った。また、医療のグローバル化が加速していて、日本だけでなく海外の技術を吸収して、働くときにその知識を活かしたいので、ダブルディグリーか海外の大学院に進みたいと思っている。

今回のディスカッションでも感じたが、成功するかしないかは、失敗を惜しまず努力をし続けられるかにかかっていると思うので、自分の夢を叶えるために今できることすべてを全力でやりきるという意志を持ち続けたい。



高2E F.T

自分にとって幸福な自己実現はやりたいことに対して一生懸命に取り組めること。やりたいことに取り組むにはまずはやりたいことを見つけなければならない。それを探すには、社会にどのようなものがあるのか、自分がどのようなものが好きなのかを知らなければならない。そして、見つけた好きなものに対して取り組める環境がなければならない。その環境は誰かが与えてくれるのを待っていたらいつまでも来ない。大事なことはその環境に飛び込むための勇気だと思う。今は、学校という狭い社会の中で生活しているが、やりたいことのために1人で外の社会に飛び込まなきゃ行けない。その際最初の一步を踏み出す勇気が一番大事だと思う。今日、私はグループディスカッションで発言するかしないかを迷い最終的にできなかった。少しの後悔を抱きながら参加したクラ

すまとめで、全体としての感想を誰かが言うのを待つタイミングがあった。私はこのタイミングを逃がしたらもう一度後悔すると思い、一か八かでチャットに感想を載せてみた。そうしたら、ゲストの方が反応をしてくださった。その時に自分はすごく嬉しくて晴れ晴れしい気持ちになったし、自分がなにかをすればたとえ初対面でもそれに答えてくださる大人はいるんだと思った。だから私はこのことを忘れずにいようと思った。印象に残ったこととしてやりたいことがわからなかったら好きなことがなぜそれが好きなのか、どこが好きなのかを考えるのがいいと言っていた。そうすれば何かしら見つけてそれが将来に生きるかもしれない、なので私は今好きなことを大切にしようと思う。また、人生のゴールはなりたい職業につくことではない、と言っていたのを聞いて、まずは最終的に自分がどうなりたいか、HAPPYなのか、そのようなことを考えそれはどうしたらなるのかを考えてなりたい職業を考えようと思う。今回自分が大きく変わるチャンスをものにできたとは思わないが、自分でチャンスを作りものにしていける勇気と心構えを得ることが出来たと思う。だからこの気持ちを忘れずにいたいと思う。

高2F A.Y

私にとっての幸福な自己実現とは自分になりたい自分に近づくこと。そのためには今回の基調講演でMさんがおっしゃっていた通り、HAPPYの因数分解、すなわち目標を具体的に決めることが大切だなと感じました。そして「自分で」決めて結果に責任をもち、納得のいく結果に近づけていくことが大切だと思いました。今回の講演のキーワードの一つに、かっこいい人というのがありましたが、そこで多く出た意見の一つに周りに流されないことというのがあります。しかし、頑固と言われている私は周りに流されないことと、頑固の違いがよくわからず、周りに流されないというのがプラスなイメージで頑固にはマイナスなイメージがあるということしかわかりませんでした。また不器用な私は周りに流されないということと、柔軟な対応をするといことのバランスもよくわからないなと思って、いつも自分が間違っているということを痛感することしかできませんでした。

しかし、今回のイベントのグループディスカッションで「自分の軸」と「他人に対する軸」を区別するという話が出てきて、こういう考え方もあるのだなと刺激を受けました。「自分の軸」というのは自分の譲れない目標のことで、どんなに辛いことがあってもそれだけはぶれずにそこに進んでいくというものです。「他人に対する軸」というのは他人と作業するにあたっては他人と成果を上げるために、どこかで自分が折れなければならないもので「自分の軸」とは区別して考える必要があるということです。

今回の講演で感じたのは自分の軸の比喻をそのまま用いるならば「自分の軸は強固でまっすぐであるべきだけれども、その周りは柔軟であるべきだし、装飾物が多い方がいい」のかなということです。



高 2F A.Y

私はこの問いに答えるには「幸福」とは何かを考えなければいけないと思う。この「幸福」とは、自己実現するものであるから、自分で叶えるものだろう。今日のディスカッションで、自分の目標に向かって進んでいるときに感じる自分の成長や何かをやり遂げたときの達成感、また自分の好きなことを突き詰めること、などは幸福につながるということを聞いて、確かに自分でつかみ取る幸福とはそのようなものだと感じた。私は「幸福」とは生きているという実感だと思う。その生きている実感は、何かをやり遂げたり目標に向かっているときや、自分の好きなことをやっているときの生き生きしている感じだと思う。今日の講演を聞いて、この「幸福」を感じるには自分から何かをしてみなければいけないと思った。今日の講演で特に印象的だったのが、自分で限界を作らないということと、手を挙げると人生が変わるということだ。私は面倒くさがりな性格なので、自分で限界を作らないようにしたいと思っていても、なかなか自分がいる環境からあまり一歩踏み出せないことが多い。でも、今日手を挙げてみて、確かに自分がそれまでの自分と少し変わったかなと思った。手を挙げてみたことで自分を演じてみる、ということを聞いて、面倒くさがりな自分でもやってみようかな、と思えた。そういう小さなことを積み重ねたら人生が変わっていくのかもしれない。めんどくさいな、と思っても、これを終えた自分はなりたい自分になっているんだと思って一歩踏み出してみようと思った。

ハッピーの因数分解

ワクワクすること

得意なこと

人生のテーマ

どのような人になるか
なにを成し遂げるか
どんな社会をつくるのか

幸福の自己実現

30,000

社会の役に立つこと

職業は人生のテーマを成し遂げるための手段

コミュニティー

テニスボール

一歩踏み出す勇氣

今の自分を否定しない

☆ゲストの方の感想☆

オンラインの難しさもありながら、むしろ生徒さんから刺激をうけることができました

生徒さんの深い洞察とご意見に、我々の方こそたくさんのことを学ばせていただきました

みなさんの多くが、このイベントでこれからの生き方の重要なヒントを得ましたね。ここで感じたこと、考えたこと、決意したことを大事にしていてほしいと思います。

「心が動いた」というだけで、すでに最初の一歩が始まっています！！



洗足学園中学高等学校 × NPO法人 JSBN
オンライン出張授業プロジェクト

5月28日

幸福な自己実現を考える
— あなたが思う幸福な自己実現とは —

「幸福な自己実現」とは何でしょうか。グローバル化やCOVID-19の影響で、世界はまさに激動の機軸を呈しています。これまでのように、社会はあなたに「幸せな生き方」を教えてはくれません。これからは皆さん自身が、イキイキと自分らしく生きられる未来を描いていくのです。しかし、そもそも「幸福な自己実現」という言葉自体、自分ごととして考えるのはとても難しいものです。本イベントでは、多様なバックグラウンドを持つ社会人との世代を超えた対話を通して、あなたにとって「幸福な自己実現」とは何かの考えを深めることで、今後の探究のための準備をすることを目指します。

Event Summary
Date & Time
5月28日 9:55-12:00
Platform
Google Meet
For You
高校 2年生

